

本日の記者会見の案件は、2件でございます。

初めに「新型コロナウイルス感染症への対応について」でございます。

市内・道内の新規陽性者につきましては、減少傾向が続いており、市立病院の直近1週間（3月12日～18日）の感染症病床利用率は23%で、1日当たりの平均入院患者数も3名程度と、落ち着いた状況となっております。

次に、追加接種のオミクロン株対応ワクチン接種につきましては、3月17日現在、推計接種率は46.1%となっております。

また、臨時接種の期間が1年延長になりましたので、令和5年度の接種について、引き続き苫小牧市医師会と連携しながら、体制を構築してまいります。

詳細につきましては、担当部長から説明いたします。

【健康こども部長】

それでは、令和5年度の新型コロナワクチン接種について資料1に沿ってご説明いたします。

初めに、現在実施しております令和4年の秋開始接種は本年5月7日で終了となります。

令和5年度については、春開始接種と秋開始接種の2回の接種を予定しており、春に開始される接種は、初回接種を終了した65歳以上の方、基礎疾患を有する5歳から64歳までの方、重症化リスクの高い方が集まる場所においてサービスを提供する医療機関や高齢者施設・障害者施設等の従事者の方となっております。

また、秋に開始される接種につきましては、初回接種（2回目までの接種）を終了した5歳以上の全ての方が対象となっております。

資料に、時期と対象者による区分表を掲載しておりますので、そちらで詳細をご確認いただければと思います。なお、コロナワクチン接種の費用については、

引き続き公費負担によって無料となっております。

次に、苫小牧市内の接種体制についてですが、今後、コロナワクチンが定期接種化されることも視野に、接種体制を維持することが重要との考えから、引き続き個別接種での体制といたします。

春開始の接種券については、65歳以上の方、約5万人に対し、4月下旬から新たな接種券を送付いたしますが、64歳以下の方で接種を希望される場合は発行申請が必要となりますので、4月1日から申請していただきたいと思います。

5月8日以降は5歳から11歳を除き、これまでの接種券は使用できなくなりますので、新しいピンク色の接種券で接種していただくよう、お願いいたします。

【市長】

地域経済対策の進捗状況につきましては、資料2にお示しのとおりですので、後ほどご参照いただきたいと思います。

3月13日から、マスク着用は個人の判断を基本とすることになりました。本市におきましては、市民対応に当たる職員はマスク着用とし、執務室及び来庁者の皆様にはマスク着用を求めないこととしましたが、これまでのところ混乱なく対応できている状況にございます。

今後とも、感染症法上の5類移行に向けた国の動向を注視し、市として適宜適切な対応を行うとともに、市民の皆様には速やかな情報発信に努めてまいります。

次に、案件2「健康経営優良法人の認定について」ご説明いたします。

本市は令和5年3月8日付けで、3年連続で経済産業省から健康経営優良法人の認定を受けました。

この度は、上位500社のみが対象となる「大規模法人部門ホワイ

ト 500」の認定を、自治体としては唯一受けたもので、本市としては昨年に引き続き 2 年連続での認定となりました。

本市では、「苫小牧市健康経営宣言」を掲げ、「働き方改革」と「健康経営」を一体的に推進してまいりました。この度の評価につきましては、「経営理念」「組織体制」「施策の実行」「評価・改善」のいずれも高評価をいただき、組織一丸となって取り組んできた成果と考えております。

今後も、職員がいきいきと働くことのできる職場環境の実現を目指す「ウェルビーイング経営」に取り組み、更なる組織の活性化を図り、質の高い行政サービスの提供につなげてまいりたいと考えております。

詳細につきましては、担当部長から説明いたします。

【総務部長】

健康経営優良法人認定制度は、2016 年度から始まり、今回で 7 回目となりますが、本市は大規模法人部門で 3 年連続、ホワイト 500 としては 2 年連続の認定となります。

資料 3 頁のとおり、近年では、労働力人口の減少を背景に、人材確保や離職防止等といった課題解決を図るため、健康経営に取り組む企業が全国的にも増加しております。

本市では、「働き方改革」と「健康経営」を推進するに当たり、資料 4 頁の「戦略マップ」に基づき、「生産性の向上」や「組織の活性化」に向けて、資料 5 頁のとおり様々な施策を展開してまいりました。

毎年新たな取組を推進し、ブラッシュアップすることで、着実に評価が上がってきておりますが、職員に対するアンケート調査の結果からも、仕事満足度や職場の一体感に関するスコアが高く、仕事に対して誇りを持ち、主体的に取り組む、自由に発言できる心理的安心感がある職場であると約 8 割の職員が回答する等、エンゲージメントの向上にもつながっております。

今後につきましても、働きやすい職場環境や働きがいを感じられる職場づくりに向けて、仕事を通してより充実感や幸福感を得られる職場環境の実現

に取り組んでまいりたいと考えております。

【市長説明】

説明は以上でございます。ご質問があれば、お受けいたします。